

## 夏の節電にご協力を

担当 環境政策課

☎046(2552)7675  
FAX 046(2557)7743

国内の6割を占める火力発電は化石燃料（石油、石炭、天然ガスなど）を燃やし、効率的に発電しますが、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を多く排出します。排出された二酸化炭素は、温室効果ガスと呼ばれ、太陽光で温められた地表などの熱が逃げるのを妨げています。しかし、大気中の二酸化炭素の濃度が濃くなる

と熱の逃げ場が少なくなり、大気・地表・海洋などの温度が上昇します。これを地球温暖化といいます。地球温暖化が進むと、干ばつによる食糧不足や海面上昇による洪水被害、異常気象、疫病の流行、生態系の変化などが引き起こされます。

わたしたちが電力を使うという事は、同時に二酸化炭素を排出するという事になります。夏は冷房の使用などにより電力使用量が増える季節です。体調を崩さないように注意しながら、無理のない上手な節電を行いましょう。

**「ごまめにスイッチオフ！」**  
エアコン、照明、テレビ、パソコンなど使わないときはこまめにスイッチを切り、長時間使用しない場合はプラグを抜くなど、電気使用を必要最小限にしましょう。

**「待機電力を削減！」**  
機能維持、指示待ち状態、接続しているだけの状態で消費される電力は、年間総消費量の約6パーセントになるといわれます。主電源を切るなどしましょう。

**「エアコンで節電！」**  
カーテンを利用して熱の出入りを防ぐ、サーキュレーターなどを併用する、設定温度・風向きを調節するなどしましょう。

**「冷蔵庫で節電！」**  
開いている時間を短くし余分な開閉はしない、物を詰め込みすぎない、熱いものは冷ましてから入れるなどしましょう。

**「照明で節電！」**  
照明器具を掃除し輝度を上げる、省エネ型の器具を使う、明るさや点灯時間を調節するなどしましょう。

**「テレビで節電！」**

**「家庭でできる節電」7つのポイント**

次のポイントに注意して節電に取り組みましょう。

画面の輝度・音量を上げすぎない、見ないときは電源を消すなどしましょう。

**「他にもこんな工夫で節電！」**  
台所（炊飯器、電気ポット、食器洗浄機）やトイレ（電気便座）、洗濯（洗濯機）などの場面で節電機能や生活スタイルを見直して節電しましょう。

**「ライトダウンキャンペーン」**  
毎年、6月21日～7月7日は、不要な照明を消灯するライトダウンキャンペーンです。7月7日（木）はクールアース・デーライトダウンとして午後8時～10時の消灯特別実施にご協力ください。

**市の取り組み**  
市では、毎年、7月1日～9月30日を「夏の節電対策期間」と定め、節電へ重点的に取り組んでいます。

公共施設では、市役所1・2階で来庁者にうちわを貸し出すなど、市民サービスの維持と電力消費のバランスを考慮した節電に取り組んでいます。また、各課に「エコリーダー」を置き、きめ細やかな省エネ行動を実践しています。

**◆グリーンカーテン**  
ツル性植物を建物の窓や壁沿いに栽培し、植物の蒸散作用と太陽光の遮断効果で建物内の室温を下げ、エアコンなどの電力に頼らな

い快適な職場・住環境を作る取り組みを進めています。昨年度は、小松原保育園と協力して、ゴーヤによるグリーンカーテンを作りま

した。今年度は、市役所1階医療課の南側にゴーヤの苗を植え、グリーンカーテンを実施しています。



小松原保育園のグリーンカーテン

## ヒマワリに関する取り組み

担当 商工観光課

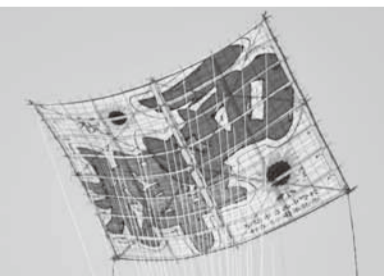
☎046(2552)7604  
FAX 046(2553)3550

7月21日（木）～26日（火）に栗原会場で、8月11日（木）～16日（火）に座間会場で「ひまわりまつり」を開催します。遊休農地・荒廃地対策として始まったひまわり畑は、市の夏を彩る風物詩となりました。市内では、ヒマワリに関係したさまざまな取り組みが行われています。

**小・中学校での取り組み**  
今年度、西中学校では、ヒマワリの茎で作った和紙を貼り付けた二階（3・6メートル四方）風を制作し、大風まつりで掲揚しました。また、いくつかの小・中学校では、地域の方と協力するなどして、ヒマワリの種まき・植栽を行っています。

**花壇作り**  
商店街団体「みどりとき」の街さがみ野では、中学生や米海軍厚木基地の米軍ボランティアなどと、珍しい赤色のヒマワリ「ルビーエクリプス」を植栽しました。

**商品づくり**  
県央小売酒販組合座間支部では、ヒマワリの種が原材料の「ひまわり焼酎」の製造・販売を行っています。また、ヒマワリの種を使用したクッキーなどさまざまな商品が開発されています。



西中学校が制作した風



赤いヒマワリの植栽

## 平成28年度市技能功労者等表彰対象者の推薦

担当 商工観光課

☎046(2552)7604  
FAX 046(2553)3550

市では、市内の商・工業の発展を目的に、市内の事業所に勤務する優良な技能者・従業員を表彰しています。次の項目に該当する方を推薦をお願いします（各表彰項目につき1事業所一人まで）。

**◆技能功労者**  
表彰選考会での厳正な審査の上、推薦された候補者の中から表彰者を決定します（11月3日（木）表彰予定）。

**◆優良従業員**  
市内事業所に勤務する従業員で勤続年数が10年以上の方

**◆優良技能者**  
技能職として同一職業に10年以上従事している方

●優良技能者にふさわしい優れた技能を持ち、他の模範となっている方

●技能職として同一職業に10年以上従事している方

●優良技能者にふさわしい優れた技能を持ち、他の模範となっている方

●市内事業所に勤務する従業員で勤続年数が10年以上の方

●技能職として同一職業に10年以上従事している方

●優良技能者にふさわしい優れた技能を持ち、他の模範となっている方

●市内事業所に勤務する従業員で勤続年数が10年以上の方

●技能職として同一職業に10年以上従事している方

●優良技能者にふさわしい優れた技能を持ち、他の模範となっている方

●市内事業所に勤務する従業員で勤続年数が10年以上の方

●技能職として同一職業に10年以上従事している方

●優良技能者にふさわしい優れた技能を持ち、他の模範となっている方

●市内事業所に勤務する従業員で勤続年数が10年以上の方

●技能職として同一職業に10年以上従事している方

●優良技能者にふさわしい優れた技能を持ち、他の模範となっている方

●市内事業所に勤務する従業員で勤続年数が10年以上の方

●人物、実績が優秀で他の模範となり、推薦者が表彰に値すると認める方（家族従業員を除く）

○表彰の基準日 9月1日（木）

○応募方法 市役所4階商工観光課、各出張所、市商工会（座間2・2887・12）で配布する「技能功労者等推薦調査書」（市ホームページからダウンロード可）に事業主および団体の長が必要事項を記入の上、8月1日（月）～31日（水）に〒252-8566

座間市役所商工観光課宛てに郵送または直接担当へ

市とNPO法人きづきでは、相互提案型協働事業として、心の健康に不安や問題を持つ方への理解を深めるための全5回の講座「市民こころのバリアフリー（心の健康問題普及啓発）及びハート・コミュニティ」を開催します。

第2回は、「180人Mottoの会」代表でジャーナリストの大熊一夫さんを講師に招き、「精神病院を捨てたイタリア 捨てない日本」と題した講演と映画「むかしMottoのあった町」の上映を行います。

**第2回 海外の精神医療**  
○とき 8月6日（土）正午～午後4時（午前11時30分開場）

○ところ ハーモニートホール座間（市民文化会館）小ホール

○定員 100人（申込順）

○参加費 無料

○申込方法 8月3日（水）までに電話、ファクスまたは直接担当へ

市とNPO法人きづきでは、相互提案型協働事業として、心の健康に不安や問題を持つ方への理解を深めるための全5回の講座「市民こころのバリアフリー（心の健康問題普及啓発）及びハート・コミュニティ」を開催します。

第2回は、「180人Mottoの会」代表でジャーナリストの大熊一夫さんを講師に招き、「精神病院を捨てたイタリア 捨てない日本」と題した講演と映画「むかしMottoのあった町」の上映を行います。

**第2回 海外の精神医療**  
○とき 8月6日（土）正午～午後4時（午前11時30分開場）

○ところ ハーモニートホール座間（市民文化会館）小ホール

○定員 100人（申込順）

○参加費 無料

○申込方法 8月3日（水）までに電話、ファクスまたは直接担当へ

市とNPO法人きづきでは、相互提案型協働事業として、心の健康に不安や問題を持つ方への理解を深めるための全5回の講座「市民こころのバリアフリー（心の健康問題普及啓発）及びハート・コミュニティ」を開催します。

第2回は、「180人Mottoの会」代表でジャーナリストの大熊一夫さんを講師に招き、「精神病院を捨てたイタリア 捨てない日本」と題した講演と映画「むかしMottoのあった町」の上映を行います。

**第2回 海外の精神医療**  
○とき 8月6日（土）正午～午後4時（午前11時30分開場）

○ところ ハーモニートホール座間（市民文化会館）小ホール

**市民こころのバリアフリー及びハート・コミュニティ講座**

障がい福祉課

☎046(2552)7132  
FAX 046(2552)7043

市とNPO法人きづきでは、相互提案型協働事業として、心の健康に不安や問題を持つ方への理解を深めるための全5回の講座「市民こころのバリアフリー（心の健康問題普及啓発）及びハート・コミュニティ」を開催します。

第2回は、「180人Mottoの会」代表でジャーナリストの大熊一夫さんを講師に招き、「精神病院を捨てたイタリア 捨てない日本」と題した講演と映画「むかしMottoのあった町」の上映を行います。

**第2回 海外の精神医療**  
○とき 8月6日（土）正午～午後4時（午前11時30分開場）

○ところ ハーモニートホール座間（市民文化会館）小ホール

○定員 100人（申込順）

○参加費 無料

○申込方法 8月3日（水）までに電話、ファクスまたは直接担当へ